4 各事業の成果目標及び事業実績一覧表

		目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業 評価	
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡						
((8つの重点項目) 中小製造事業者への重点的取組					
	•	(重点項目①) 緑地率の緩和	工場立地法に基づく準則条例 の制定(緑地率の緩和条例の 制定)	なし 「静岡市工場立地法第4条の2第 2項の規定に基づく準則を定める 条例」をH27年11月に制定、H28年 4月1日に施行済み		
	•	(重点項目②) 大手製造企業の傘下企業に対す る支援の検討	企業 O B 技術者等の現状把握 及び活用方策の整理	■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及び首都圏在住の人材掘り起こし等のためのセミナーを開催	*	
	•	(重点項目③) 中小製造事業者等を取り巻く規 制事項の洗い出しと緩和の検討	市内製造事業者が課題とする 規制事項及び緩和要望等の把 握並びに緩和実現に係る方針 の検討	経済団体との懇談等を通じた 規制事項のヒアリング等の実 施	*	
	•	(重点項目④) 本市の誇るべき中小製造事業者 等の表彰	①静岡県知事表彰及び静岡市 功労者表彰への推薦 3者表 彰 ②中小製造事業者の技術表彰 制度 表彰社数 5社表彰	①表彰者数 4者 ②表彰社数 6社	S	
	•	(重点項目⑤) 産業振興プラットフォームの考 え方に基づく中小製造事業者支 援	プロジェクト支援数 3社	プロジェクト支援数 10社	S	
		(重点項目⑥) 国や県等の補助制度の情報提供 と活用モデルの提案	国や県等の補助制度に関する 情報の整理及び製造事業者へ の適時適切な情報提供	国や県、その他産業支援機関 等のガイドブック、ホーム ページ等により、情報収集を 行った	*	
	•	(重点項目⑦) 展示販売会等の開催による販路 拡大に向けた支援	展示会等の誘致件数 1件	展示会等の誘致件数 1件	А	
	•	(重点項目®) ものづくり関連の民間活動団体 への支援	広報等による支援の実施	■日立清水理科クラブの会報を配架し、活動の周知を実施した。 ■「静岡市長杯 水ロケット大会」への支援を実施した。	*	
()	(方針1) 企業の誘致と留置の推進					
		(事業1) 企業立地の推進	新規企業立地件数 17件/年 ※(静岡市地域基本計画) 平成25~29年度 85件/5年	新規企業立地件数 43件	S	

注)◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

目標、方針、施策、事業			各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価		
(目標	票) 多	様な地域資源が連携するものづ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
((方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)						
		(事業2) 全国規模等の見本市への出展助 成	全国規模展示会等への出展・ 開催件数 55件	補助金利用企業数 53件	А		
	(事	業3) 首都圏におけるプロモー	ションの強化				
		(事業3-1) 特産品東京展示会事業	会場売上金額 500万円	期間中の売上額 613万円	s		
		(事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業	関連施設・イベント入込客数 219,000人	来場者数 257,807人	s		
		(事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業	展示即売会 11回	展示即売会数 13回	S		
		(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分 野進出への支援	おおた研究・開発フェア及び おおた工業フェアの出展企業 数 2社	出展企業数 1社	С		
	(事	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■					
	•	(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充 実化	各展示販売会来場者数 270,000人	各展示販売会来場者数 274,423人	А		
	•	(事業5-2) 海外における地場産品の販路開 拓	開発と販路等の検討	ドイツの世界最大規模の国際 消費財見本市(アンビエン テ)における静岡市の工芸品 (静岡挽物)の開発品及び既 存商品の展示を実施	*		
	•	(事業5-3) インターネットの活用による地 場産品の販売促進	駿府楽市Webページ改修	なし (※H27年度に改修済み)			
	•	(事業5-4) 問屋的機能の再興に向けた検討	業界及び駿府楽市との検討会 実施回数 27回	業界及び駿府楽市との検討会 実施回数 27回	А		
	*	(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化	駅駿府楽市来場者数 41.5万 人	年間来場者数 41万人	А		
(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援							
		(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関 する検討	新産業開発振興機構との連携 促進に向けた検討	■静岡商工会議所機構事務局 と連携し、大学及び業界団体 のマッチング可能性を調査 ■地場産業企業との協議を実 施	*		
		(事業7) 中小企業技術開発支援事業	研究会、セミナー等参加者へ の支援件数 1件	支援件数 1件	А		
		(事業8) 若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)	講演会、指導会等の開催回数 3回	講演会、指導会等開催回数	S		
+) A En !	+ # * =		ナ ハキオ				

注)◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

「事業 1 0			目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価			
(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェク 南品化件数 6件 南品化件数 6件 南品化件数 6件 南品化件数 6件 市業 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京本 京	(目	標)	多様な地域資源が連携するものづく	い創造都市 静岡					
(事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェク	()	方針3	3) 新製品・技術開発等に対する支援						
商品企画・開発支援プロジェク		(事	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援						
新商品・特許事業 原等の件数 25件 原等の件数 27件 (事業10) アーティストとのコラボレー ション支援権 (ニューウェー ブレずおか創造事業) (事業11) 地域課題に係る産学共同研究へ の支援 (事業12) ● 職人向け指導会等開催回数 1回 (方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化 (事業13) 国、県等に関する補助制度等の情報提供支援 同報提供支援 同報の活味を表した。 「事業14) 企業のB技術者等の活用事業 (事業15) 製造業部会等との連携推進 (事業16 - 1) 産業補造の将来動向等に関する ・ 海及び予測モデル構築の検討 (事業16 - 2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 「事業16 - 2) 地域間競争に配む、戦略的方策の検討 「事業16 - 2) 地域間競争に配む、戦略的方策の検討 「事業16 - 2) 地域間競争に配む、戦略的方策の検討 「事業16 - 3)			商品企画・開発支援プロジェク	商品化件数 6件	商品化件数 6件	А			
アーティストとのコラボレー フョン支援推進(ニューウェー プしずおか創造事業) (事業11) 地域課題に係る産学共同研究へ の支援 (事業12) → 職人に対する商品開発手法等の 教育 (方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化 (事業13) 国、県等に関する補助制度等の 情報提供支援 (事業13) 国、県等に関する補助制度等の 情報提供支援 (事業14) 企業のB技術者等の活用事業 企業のB技術者等の活用事業 企業のB技術者等の活用事業 企業のB技術者等の活用事業 企業のB技術者等の現状把提 及び活用方策の整理 (事業15) 製造業部会等との連携推進 (事業16) 中小企業の支援施策等に関する を支援制度のブラッシュアッ 施、当要至と人材の交流会及び首都圏在住の企業のB技術者担い起こし等のためのセミナーを開催 (事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16) 東書16 中小企業の支援施策等に関する高積及び予測モデルの構築 「特別の発達に対する検討及び「事業16 ー 2) 地域問競争に関する 予測モデル構築の検討 「事業16 ー 2) 地域問競争に臨む戦略的方策の検討 地域問競争に打ち勝つための検討 第2次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 第2次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 第3と次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 第5と次を受験者と呼吸でである。 第2次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 第3と次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 第5と次を受験者を定成 第5と次ものづくり産業振興基本のうち、23事業におおいて達成 することができた。						S			
地域課題に係る産学共同研究へ 夜学共同研究数 6件 夜学共同研究数 8件 で			アーティストとのコラボレー ション支援推進 (ニューウェー	開発点数 20点	開発点数 41点	S			
◆ 職人に対する商品開発手法等の 職人同け指導会等開催回数 1回			地域課題に係る産学共同研究へ	産学共同研究数 6件	産学共同研究数 8件	S			
(事業 1 3) 国、県等に関する補助制度等の情報の整理及び製造事業の適時適切な情報提供支援 国や県等の補助制度に関する 関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った 本市補助制度等の地域金融機関への説明会を実施 中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施 市首都圏在住の企業のB技術者等の活用事業 企業のB技術者等の現状把握 及び活用方策の整理 一市が圏在住の企業のB技術者 振り起こし等のためのセミナーを開催 投資・製造業部会等との連携推進 投資・製造業部会等との連携による 各支援制度のブラッシュアッ 施工会議所からの行政要 経験 を通じた意見交換等の実施、当要望に対する検討及び回答を行った 本市のものづくり産業について、事業 1 6 一 1) 産業構造の将来動向等に関する 香積及び予測モデル構築の検討 不成のもの知点から業種毎のトンンドや将来予測についての考察を実施 (事業 1 6 − 2) 地域間競争に随む戦略的方策の 戦略的方策の検討 東東 1 5 投資・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・		•	職人に対する商品開発手法等の			А			
(事業13) 国、県等に関する補助制度等の情報の整理及び製造事業者へに関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供 (事業14) 企業○B技術者等の活用事業 企業○B技術者等の現状把握 企業○B技術者等の現状把握 及び活用方策の整理 (事業15) 製造業部会等との連携推進 (事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討 (事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 国や県等の補助制度に関する 情報の整理及び製造事業者へに対すると アリコンク業と人材の交流会及び首都圏在化企企業的技術者振り起こし等のためのセミナーを開催 静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施、当要望に対する検討及び回答を行った 「事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する調査事業 「事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 本市のものづくり産業についの考察を実施 第2次ものづくり産業に知いての考察を実施 第2次ものづくり産業振興基本計画に登載された全42事業のうち、23事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。		(方針							
(事業 1 4) 企業 ○ B技術者等の活用事業 企業 ○ B技術者等の現状把握 及び活用方策の整理 「事業 1 5) 製造業部会等との連携推進 (事業 1 6) 企業 ○ 大田・ 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業 1 6 - 1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討 (事業 1 6 - 2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 (事業 1 6 - 2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 (事業 1 6 - 3)			国、県等に関する補助制度等の	情報の整理及び製造事業者へ	関等のガイドブック、ホーム ページ等により、情報収集を 行った ■本市補助制度等の地域金融	*			
(事業 1 5) 製造業部会等との連携推進					アリング調査を実施 ■市内企業と人材の交流会及 び首都圏在住の企業0B技術者 掘り起こし等のためのセミ	*			
(事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する 予測モデル構築の検討 「事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 地域間競争に臨む戦略的方策の検討 地域間競争に打ち勝つための 戦略的方策の検討 「事業16-3)				各支援制度のブラッシュアッ	望を通じた意見交換等の実 施、当要望に対する検討及び	*			
(事業 1 6 - 1) 産業構造の将来動向等に関する 予測モデル構築の検討 「事業 1 6 - 2) 地域間競争に臨む戦略的方策の 検討 「事業 1 6 - 3) 「事業 1 6 - 3)		(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業							
(事業 1 6 - 2) 地域間競争に臨む戦略的方策の 検討 地域間競争に打ち勝つための 戦略的方策の検討 本計画に登載された全42事業 のうち、23事業において当初 の目標以上の進捗状況を達成 することができた。			産業構造の将来動向等に関する		て、雇用の観点から業種毎の トレンドや将来予測について	*			
(事業16-3)			地域間競争に臨む戦略的方策の		本計画に登載された全42事業 のうち、23事業において当初 の目標以上の進捗状況を達成	*			
ものづくり先進都市等に関する 調査研究				先進視察都市数 1件		Α			

注)◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

	目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成28年度実施状況	事業評価			
(方	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化						
	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業						
		現在のエネルギー需要の把握 及び今後のエネルギー確保に 向けた方策の整理	■冷熱利用についてのヒアリング調査を実施 ■市内企業の自家発電の現状 把握方法の検討	*			
	(事業17) 地場産品に関する調査事業						
	◆ (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等 に関する調査	首都圏等における調査実施回 数 2回	首都圏等における調査実施回 数 3回	S			
	(事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の 調査研究	他都市、他産地の事例を調査 研究	■漆器、下駄、竹分野等分野における原材料の実態の調査及び業界団体と意見交換を実施。 ■竹素材の素材研究の実施	*			
	◆ (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方 に関する調査研究	他都市、他産地の事例を調査 研究	他産地の調査研究の実施	*			
(方	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成						
	(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既 存大学における工学部新設の検 討		地元製造業者に対する静岡大 学工学部等のシーズ説明会の 開催	*			
	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業)						
	(事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝 統工芸技術保存講習会の開催)	受講生 30人以上 (漆器、蒔絵、木工、竹工 芸、拭漆の5部門に関する講 座)	受講者数 39人	S			
	(事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	制度活用者数 短期支援2人、長期支援2 人、独立支援1人 (各人数は延べ)	短期支援 1人 長期支援 4人 独立支援 2人	S			
	L	他都市、他産地の事例を調査 研究	■業界ニーズの確認 ■首都圏美術大学教授による 指導会の実施	*			
	(事業20) 高校生のインターンシップ事業	実施生徒数 50人	実施生徒数 81人	S			
	(事業21) ものづくり体験・学習機会の提 供	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,600人	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,275人	А			
:÷\ ▲ rn/+ i		ナ いナナ					

注)◆印は基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。